

都城市における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認 及び小林市における同疑い事例の発生について

令和2年12月7日
畜産新生推進局

1 農場の概要

- [農場①] 所在地：都城市
飼養状況：肉用鶏 約6万羽
- [農場②] 所在地：小林市
飼養状況：肉用鶏 約4万3千羽

2 発生の経緯

- [農場①] 本日15時10分、本県3例目の移動制限区域内にある農場について、同移動制限区域内の食鳥処理場への条件付き出荷を可能とするために宮崎家畜保健衛生所でPCR検査を実施したところ、H5亜型の遺伝子を確認。この結果を農林水産省に送付し、合わせて臨床状況の確認を行ったところ、同日20時00分に高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。
- [農場②] 本日15時40分、当該農場の報告徴求で死亡羽数の増加が確認されたことから、都城家畜保健衛生所が当該農場で鳥インフルエンザウイルスの簡易検査を実施したところ、同日18時00分にA型インフルエンザ陽性を確認。
現在、宮崎家畜保健衛生所においてPCR検査を実施しており、検査結果は翌日の早朝に判明予定。

3 対応状況等

- (1) 緊急的な措置として、以下の対応を実施。
 - ① 当該農場の飼養鶏、物品等からの持ち出しの禁止
 - ② 周辺農場の飼養状況の確認及び移動自粛の要請
- (2) 部内各課長、県対策本部班長合同会議の開催
- (3) 第4回県対策本部会議（書面開催）
- (4) プレスリリース（第1報）
- (5) 記者会見の開催
- (6) 庁内動員予定者への対応依頼
- (7) 消毒ポイント設置箇所の選定
- (8) 農林水産省による疑似患畜の判定、防疫措置を実施（農場①）
 - ① 自衛隊への災害派遣要請
 - ② 発生農場における殺処分開始
 - ③ 農場周辺の移動制限（3km内）及び搬出制限区域（3～10km）の設定
 - ④ 消毒ポイントの稼働
- (9) 宮崎家畜保健衛生所におけるPCR検査結果判明（農場②）
疑似患畜確認後に防疫措置を実施

4 制限区域内の農場数及び飼養羽数

[農場①]（都城市）

区 域	農場数	飼養羽数	区域内市町村
移動制限区域（3 km内）	1 1	約 5 2 万羽	都城市、小林市
搬出制限区域（3 ～ 1 0 km内）	8 7	約 3 8 0 万羽	都城市、小林市、 宮崎市、綾町、 高原町
合計	9 8	約 4 3 2 万羽	3 市 2 町

※農場②の制限区域については疑似患畜確定後に公表予定